



ミニミニマインズ 博物館だより

平 18.12.19 第 143 号
秋田大学工学資源学部
附属 鉱業博物館

☆ 10月1日から開催しておりました後期企画展「秋田の活断層と地震災害—身近にひそむ危険の実像に迫る—」は、11月30日(木)で終了しました。61日間の開催期間中、入館者は**1,783名** (大人**1,401名** 小人**382名**) でした。期間中に、8校からの小中高生の見学を含め、たくさんのお客さんが入館されました。

☆ 後期企画展開催中の11月15日、「NHKニュースパーク秋田」の番組内で鉱業博物館からの生中継が放映されました。鉱業博物館専任講師の西川治先生が企画展内の資料を使って、キャスターの市倉さんからの質問を受けながら「秋田の活断層と地震災害」について解説し、その様子が中継されました。後期企画展を番組内で紹介されたこともあり、テレビを見てから、博物館に足を運んでくださったお客さんもいました。

「秋田の活断層と地震災害」



11/15 生中継の様子

～ボランティアの先生方へ・・・ 博物館を見学しての「お礼の手紙」から ～

☆ 10月27日、由利本荘市立新山小学校6年生157名の生徒たちが、校外学習の一つとして鉱業博物館を見学に来ました。鉱業博物館見学が理科の学習の参考になり、貴重な体験になったと、代表して21名の生徒たちから手紙が届きました。とても詳しく、分かりやすい説明に、興味と関心を持ったことと、ボランティアの方々への感謝の気持ちが書かれています。手紙の一つを紹介します。 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

先生方の博物館の説明の中に「この鉱業博物館はアンモナイトのような形になっています。」という言葉があって、そのことを聞いたとき「建物まで化石の形になっているなんてすごい！！」と思いました。そして早く見たくていそいそと中に入ってみたら、たくさんの宝石や岩石、機械の部品などがあって夢中になって見ました。ところどころで先生方のおもしろくてわかりやすい「地球のでき方」などの説明があったのでよく知ることができました。私は今まで理科はあまり好きな方ではなかったのですが、この体験をきっかけに理科のおもしろさなどを知ることができました。この貴重な体験を忘れずに地層の学習もがんばっていきたくです。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

休館のお知らせ

12月25日(月)から1月5日(木)まで整備・点検のため博物館は休館します。

1月6日(土)から通常どおり開館いたします。

開館時間 9:00~16:00 休館日：月曜日 但し、月曜日祝祭日の場合は翌日

案内希望の方は事前に予約が必要です。018-889-2461 (博物館事務室) まで、ご連絡ください。

サイエンスボランティアが御案内いたします。



～ボランティア会員へのおしらせ～

(事務局 長谷川)

☆ 11月の例会：11月24日（金）開催

例会後の勉強会は前回に引き続き村上講師の「鉱物の色」3回目として、1階のフロアで現物を手にしながら、それぞれの発色の仕組み（カラーセンター、結晶場遷移、分子軌道遷移など）を学びました。

☆ 土曜勉強会：11月25日（土）開催

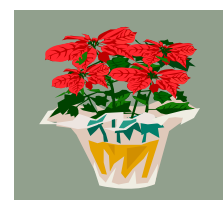
片岡会員の解説で2階の鉱山施設模型、火薬などについて学びました。

☆ 12月の事務局会議、例会の日程

博物館の忘年会の日程（22日17時40分～）に合わせて下記のようにになりました。

事務局会議：12月22日（金）15時半～16時から開催します。

例 会： 同 16時～17時



☆ 1月の会議

事務局会議・例会は、いずれも冬休み休会とします。

☆ 活動状況

案内：11月15日 湯沢高校 午前 43名 林、片岡、斎藤、岡部、長谷川会員

午後 90名 上田、佐藤、岡部、藤原、間山、斎藤、片岡会員

11月17日 旭川小6年 35名 佐藤、藤原、片岡、斎藤、長谷川会員

11月21日 旭川小6年 午前 35名 片岡、佐藤、斎藤、渡辺会員

午後 35名 斎藤、片岡、小野、長谷川会員

11月24日 桧木内小5～6年 33名 小野、片岡、藤原、斎藤、倉田会員

それでは良い新年をお迎え下さい。



今年もサイエンスボランティアの皆様のおかげで、ジュニアサイエンススクール開催など、多くの方々にご案内ができました。

いつも博物館のためにご協力くださいましてありがとうございました。

どうぞ、良いお年をお迎えください。

☆ミニミニマイズ（博物館だより）は、ホームページでも掲載されております。どうぞ、ご覧ください。